

北 総 の カ

～思いを伝えるチーム ほ・く・そ・う～



自分の考えや思いを主体的に表現し、協働的に学習できる生徒の育成 八街市立八街中央中学校の取組

「ちばっ子の学び変革事業」検証協力校である八街市立八街中央中学校の研究実践について紹介させていただきます。

八街中央中学校では、「自分の考えや思いを主体的に表現し、協働的に学習できる生徒の育成」という研究主題で研究をすすめています。特に数学では、「基礎・基本の定着を図り、自分の考えを説明できる生徒の育成」を努力点として取り組んでいます。

全国学力・学習状況調査の分析をしたところ、特に「記述式の問題」について課題が大きく、無解答率も高いことがわかりました。そこで、問題の理解を深め、解の理由を説明するなどの機会を授業の中に取り入れる実践を行いました。

授業実践①

第1学年「文字と式」(学び合いコース)【生徒の発表の工夫】

概要：立方体を作る棒の数の求め方について、クロムブックを活用して説明する。

工夫：クロムブックのスライド機能を使用し、図に色をつけながら文字を使った式について考えさせた。生徒は、発表の際にテレビに図を写しながら説明し、視覚的にわかりやすくなるように工夫した。

成果：文字を使った式について、図を用いながら説明することができた。

授業実践②

第3学年「平方根」(学び合いコース)

概要：平方根の利用でA4用紙の縦横比がどうなるか具体物を用いて説明する。

工夫：1： $\sqrt{2}$ になることの見通しを持たせたいうで、実際の紙を用いて折ることや補助線を引くよう助言しながら説明できるように工夫した。

成果：身近なものについて平方根の性質を具体物の操作をしながら説明することができた。

上記実践の他、定期テストで記述式問題を出題し、記述式に慣れる工夫をしている。また、授業や学習への取り組み方について振り返りシートを活用し、学びのPDCAサイクルを図った取組を行っている。

説明することを意識させた学習問題の設定の工夫

